

鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍しうる人材を育成する。

研究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

2007年11月15日 制定

鹿児島大学教育目標

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

鹿児島大学の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

鹿児島大学は、教育目標に定める人材を育成するため、次のような学生を求めています。

1. 鹿児島大学の教育目標に共感し、それを実現できる基礎学力や考える力と意欲をもつ人
2. 人間としてのモラルを大切にし、教養をより高めようとする人
3. 知的向上心に富み、専門職業人として社会に貢献することをめざす人
4. ボランティアやインターンシップをはじめ、広く具体的体験に積極的に取り組む意志をもつ人

このような学生を適正に選抜するために、学部の募集単位ごとに、多様な選抜を実施します。

各学部の教育目標・入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学部

教育目標

鹿児島大学の教育目標や教育学部の目的をうけて、教育学部では、次のような人材の育成を目標とします。
学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探究することのできる高度な専門性と豊かな人間性を兼ね備えた教育者

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

教育学部では、「学校教育を取り巻く諸課題に対して、理論的かつ実践的に探求することのできる高度な専門性と豊かな人間性を備えた教育者」の育成を目的としています。

このようなことから、次のような人を求めています。

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校や特別支援学校等の教員になりたいという志望が強く明確な人
- (2) 入学後に修める専門的な知識・技能を身につけるのに必要とされる基礎的な能力を備えている人
- (3) 教員になるための専門的な学習や実習等に積極的に取り組む意欲が旺盛な人
- (4) 児童・生徒や周囲の人々とのコミュニケーションを豊かに保とうとする意欲をもつ人
- (5) 自分の人間性を高めるために、たゆまず持続的に努力する人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

学校教育に関わる教員は、専門とする分野以外にも幅広い教養と学力を身につけることが求められています。また、本学部では教育実習をはじめ様々なかたちで人と関わる機会が多々あります。そのため、入学に際し以下のことを身につけておくことが望まれます。

- (1) 学校教育の教員として必要な知識を学ぶための幅広い基礎学力
- (2) 学校現場での実習に際し児童・生徒の模範となれる規範意識
- (3) 規則正しい生活習慣
- (4) 様々な人と関わるための基本的マナー
- (5) 身近な事柄を知識と結びつける能力や、他者と協働する姿勢

3 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、小論文、面接及び調査書の成績の総合得点により行い、幅広く豊かな学力と専門性を有し、教員になる意志と情熱をもっている人を評価します。

※ 課程・コースのアドミッション・ポリシーについては、以下の教育学部ホームページを参照してください。
<https://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/about/教育目標と方針/>

医学部

教育目標

医学部は、全人的医療を实践しうる医療人の育成並びに独創的研究を行える研究者及び優れた指導者の育成を目的とします。

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

- (1) 思いやりのある人
- (2) 幅広い基礎知識を有する人
- (3) 人の生命や社会に深い関心をもつ人
- (4) 探究心があり、物事に積極的に取り組む人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 基礎的な学力
- (2) コミュニケーション能力
- (3) 医療への関心
- (4) 人を思いやる心
- (5) 物事に対する責任感
- (6) 探究心
- (7) 論理的な思考力

3 入学者選抜の基本方針

学校推薦型選抜 I では、保健学科看護学専攻、理学療法学専攻及び作業療法学専攻において、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定します。

※ 学科・専攻のアドミッション・ポリシーについては、以下の医学部ホームページを参照してください。

(保健学科) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/about/policy.html>

(看護学専攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/nursing/feature.html>

(理学療法学専攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/physical-therapy/feature.html>

(作業療法学専攻) <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health/occupational-therapy/feature.html>

工学部

教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は、高度な専門職業人の養成教育において、ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し、困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士(工学)」の育成を目指します。そのため、次の教育の目標を掲げます。

- 1 「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に、幅広い教養と高度な専門能力を育みます。
- 2 獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより、人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。
- 3 高度な工学技術や知識を、実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。
- 4 豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき、自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。
- 5 社会的な責任を担いつつ、グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

1 求める人材像

工学部は、本学部の教育目標に共感できる次のような人を、国内外から広く求めています。

- (1) 工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
- (2) 工学の面白さを学びたい、ものづくりに取り組んでみたい、技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
- (3) 自ら考え、主体的に学修する目的意識が明確で、そのための学修意欲が高い人

2 入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語、地歴、公民、数学、理科、外国語などの基礎学力のほか、特に各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の知識と能力が必要となります。

3 入学者選抜の基本方針

大学入学共通テストを免除し、個別学力検査で面接などを課し、高校の調査書を含め、基礎学力、学習意欲、目的意識などを評価し選抜します。

※ 学科・プログラムのアドミッション・ポリシーについては、以下の工学部ホームページを参照してください。

(先進工学科機械工学プログラム) https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/faculty/goal/policy_mech/

(先進工学科電気電子工学プログラム) https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/faculty/goal/policy_ee/

農学部

教育目標

南九州という多様な自然環境と生物資源に恵まれた地域の特性を活かし、フィールド等での実践的な教育を重視し、豊かな人間性と広い視野、応用・実践能力、国際性を備えた農林業、食品産業等及び食住農関連分野の技術者・指導者などの育成を目指します。

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

1 求める人材像

農学部は、次のような学生を国内外から広く求めています。

- (1) 農林業や食料生産、環境保全、生命科学の農学関連分野に強い関心を持ち、将来これらの分野で活躍をめざす意欲のある人
- (2) 自然科学の幅広い知識と外国語の基礎的な学力を備え、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力の修得に意欲のある人
- (3) フィールドでの教育に強い関心を持ち、農学に関する実務・実技能力の向上をめざす人
- (4) グローバル化する産業社会に参画し、地域社会、国際社会に貢献することをめざす人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

高等学校の国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの幅広い基礎学力のほか、特に数学、理科の高い知識・能力が必要となります。

3 入学選抜の基本方針

農学への意欲と勉学・研究への潜在能力をもつ学生を受け入れるため、小論文、面接等の総合得点に基づいて選抜します。

※ 学科のアドミッション・ポリシーについては、以下の農学部ホームページを参照してください。

（農業生産科学科）<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/department/seisan/target/>

（食料生命科学科）<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/department/seimei/target/>

（農林環境科学科）<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/department/kankyo/target/>

水産学部

教育目標

水産学部は専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備えた水産技術者を社会に送り出すために、以下の教育目標を掲げます。

- 1 鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野の専門知識を修得した人材の育成
- 2 豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画する人材の育成
- 3 地域社会と国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材の育成

入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

【水産学科（水圏科学領域、水産資源科学領域、食品生命科学領域）】

1 求める人材像

- (1) 海洋環境や水圏の生物に興味を持ち、水産業の基盤である海洋環境や水圏に生息する生物の特性と両者の相互作用についての基礎科学を学び、学校教育や環境教育の現場あるいは海洋環境と生物に関する調査・保全に関わる機関で働きたい人
- (2) 水産資源の生産管理や増養殖に興味を持ち、水産資源とその採捕・管理及び増養殖に関する理論と技術について学び、漁業技術産業、増養殖産業あるいは水産資源の開発・管理や増養殖に係る公的機関で働きたい人
- (3) 水産食品や水産資源の先進利用に興味を持ち、水産資源の食品としての利用と機能性化成品などへの先進的な利用について学び、食品・化学品製造業及び製薬業ならびにそれらの関連分野で働きたい人

- (4) 水産政策や水産物流通に興味を持ち、水産政策と水産物流通・経済に関連する知識と技術について学び、水産流通業や食品産業、水産系公務員、水産系金融、水産系公的機関などで働きたい人
- (5) 水圏環境の保全に興味を持ち、赤潮、有機汚染、有害化学物質汚染（人為的ネガティブインパクト）、水圏環境の保全と修復について学び、環境アセスメントや関連分野及び公的機関で働きたい人
- (6) 水産教員、海技士、またはグローバル人材として働くために必要な職業能力を強化し、地域社会に貢献したい人

2 入学前に身につけておいて欲しいこと

- (1) 高等学校で学ぶ国語（読解、文章表現）、英語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ）の基礎学力が必要です。
- (2) 専門科目修得のためには、各教育分野に対応した科目（生物、化学、物理、地学等）の学力が要求されます。これらの科目は1年次に習得できますが、理解するための基礎学力が必要です。

3 入学者選抜の基本方針

普通高校から、水産学への意欲と勉学への潜在能力をもつ学生を受け入れるため、面接、小論文、出願書類に基づいて総合判定し選抜します。